

うれしい話をありがとう。T先生へ

「インターネットで拝見したのですが…」と、県立M養護学校から電話がありました。生徒の実習を受け入れてもらえないかという問い合わせでした。

そして一昨日、下見にみえたT先生は、新任から6年目になるという若い女性でした。ひととおり案内した後で、こちらからも質問。T先生は、たまたま養護学校に配属されたのですか？それとも自分で希望したのですか？

ずっと小学校の先生をめざしてきたそうです。教育実習？で、養護学校を訪ねる機会があって、ふつうなら簡単に習得できるようなことが、障がいを持つ子にとっては難題であるばあい

も多々あって、そして、それができたときの本人の喜びにふれて、こういう現場で働いてみたいと思ったのだそうです。

うれしい話だなあ。

そうだよな。人間にとって一番大事な場面って、そのあたりにあるんじゃないかあ。

話は飛ぶけど、いま日本という国は、「効率」を最優先させて発展を重ね、世界の「先進」を誇っています。いわゆる「勝ち組」がますます強くなる一方で、自殺する人が1年に3万人以上もいると伝えられます。まともな社会じゃ絶対ないわけで。

そんな私たちの国が社会が、障が



華川町の下小津田地区で、皆さん共同して神社のしめ縄づくり。「左もじりなのでおまじない」とか。

いを持ちながらも一生懸命に生きている人たちから教えてもらえること、学ぶべきことっていっぱいあるはずですよ。どうぞよろしくお願いします。

ひるがえってみれば、農業も同じではないか。ぜったい欠かせない存在のはずなのに、「効率」が悪いといってお荷物扱いされ、経営も困難…話が飛びすぎたかな。

とにかく、そんなこんな視点であくせくしている百姓の現場だけど、実習に来てくれるなら大歓迎、協力できる場所があるとすれば光栄です。

田んぼ定点撮影

まだまだきれいですよ、北茨城市の花園の紅葉。どうぞ足を運んでみてください。磯原から水沼ダムを超えてさらに走るとリング園があって、直売もしています。そのすぐ前の田んぼを今年は定点撮影しています。そのなかから3コマほど。



5月7日 田植えが済んで



8月28日 垂れはじめた稲穂



10月9日 刈り取り終了